

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 プロアマ・ディフェンダー 2	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.480	△RG 0.050	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：ディフェンダー 2

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：ディフェンダー

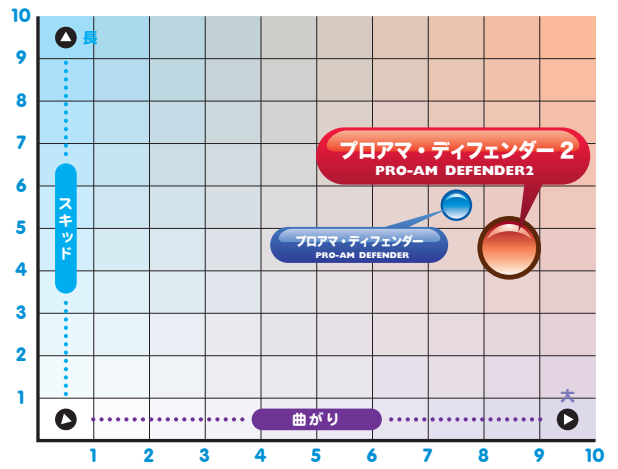
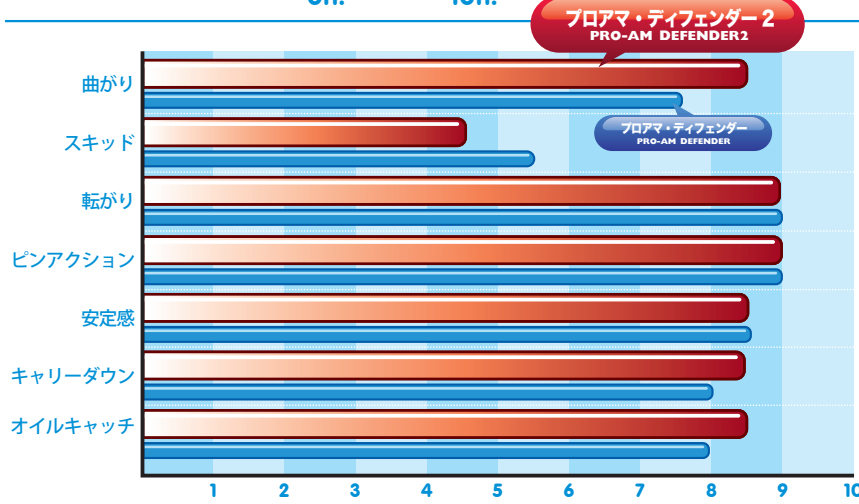
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

7作続いたインベーダーシリーズも最終章を迎え、後継モデルDefenderがリリースされました。Invaderと比べ全体的にパワーアップさせたCover StockはGRIP力が高く、オイルキャッチの良さを感じさせました。今回のDefender2はSuperGrip Pearl Reactive Cover StockをSuperGrip Hybrid Reactive Cover Stockにしています。PearlとHybridのCover Stockの差はオイル上での安定感とバックエンドでのグリップ感が向上し、1,500 Grid Polish仕上げから4000-grit Abralonまで変更しています。その運動の差は歴然となり、もはやDefenderのPerformanceレベルではなく、Commanderレベルまでキャッチ力は近づいています。実際に比較投球してみるとCover Stockの差でこれだけPerformanceが変わるものと驚かされるほどオイルキャッチとReactionは増大しています。Mid Laneの強いキャッチ力からパワーを放出し始め、バックエンドで動きが弱まるどころか増すイメージでピンヒットまで駆け抜けるReactionは、まさにHigh PerformanceレベルのReaction特性に感じます。ABS専属の山本勲プロはこのDefender2を凄く気に入っていて使用しています。やはりその理由はオイルに対しての絶対的な安定感と曲りの強さと信頼できるピンアクションからだと思います。ボックスフィニッシュ(箱出し)のままでもmediumからmedium Heavyまで対応可能ですが、キャッチが足りないと思われるときは積極的に#2000番のAblalonで加工を行ってください。私たちのテストングでも#2000Ablalon加工でもさらにキャッチは強まり、曲りも大きくなりました。

特記事項

Defender2はHybrid Reactive Cover Stockを搭載することで、新たな領域を魅せます。UMP領域の性能でもHPLレベルのPerformanceを是非感じてください。